

「三者面談・フリー授業参観」(令和3年11月25日(木))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

三者面談

今月22日から三者面談を行っています。平日で、いろいろ予定があるとところにもかかわらず、都合をつけていただき、誠にありがとうございます。ごさいます。

今後の学校生活や家庭での学習等がより良い方向に向かうきっかけになることを願っています。

フリー授業参観

今週1週間、フリー授業参観を行っています。分散して行くことで、できるだけ三密を回避したいと考えました。

雨模様で寒い日が多く、廊下から教室を観るにはつらいものがありますが、多くの保護者の皆様に来校していただきました。深く感謝申し上げます。



各種委員会活動(19日(金)) 今月から2年生が中心となって委員会運営をしています。3年生は先輩としてサポートしています。



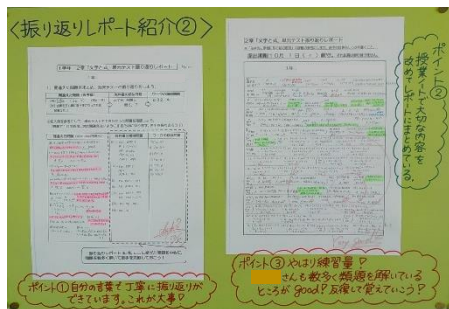
上靴のスケッチ作品(美術室廊下) 線の濃淡、硬軟等を巧みに使い分け、陰影を用いて立体的に表現しています。



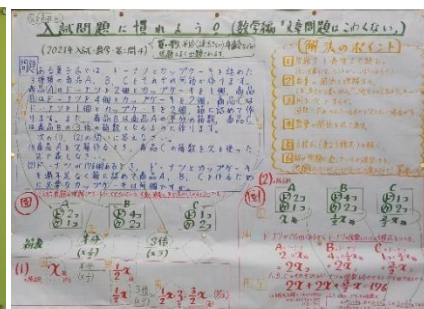
修学旅行の新聞(3年) 修学旅行の思い出の場面や出来事などについて、写真を交え、各自工夫してまとめました。



職場体験学習の新聞(2年) 「笑顔の大切さ」など体験を通して学んだことや、活動の様子、感想を丁寧にまとめました。



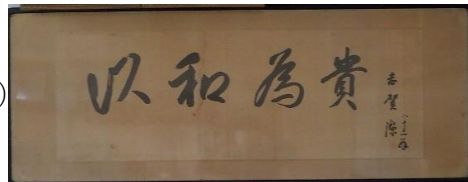
振り返りレポート紹介(1年) 新学習指導要領の下で「主体的に学習に取り組む態度」を育成する資料としても活用しています。



数学の文章問題解法のポイント(3年) 過去の入試問題の解法例を糸口に、問題解決のポイントを解説しています。

◆◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆◆ 眞保裕一「ローカル線で行こう」(2013年、429ページ)

はまりました。とにかくおもしろく、元気が出ます。本の紹介文で「読めば元気が出てくる、痛快鉄道再生ストーリー」などと書かれているのも納得です。この小説の舞台は、宮城県の赤字ローカル線「もりはら鉄道」。廃線の危機を救うために新社長になったのが、新幹線のカリスマ・アテンダント、篠宮亜佐美、31歳。篠宮が打ち出す数々のアイデアが、鉄道と沿線の町を活気づけていきます。その一方で、列車妨害、駅の放火、台風による崖崩れともし鉄を襲います。そんな中で、社員の希望をかけた「もり鉄フェスティバル」の日がやってきます。その結末やいかに。ちょっと長いですが、ぜひ一読を。本書は、町図書館からお借りました。



校長室にある額「以和為貴」の見学1年生が校長室を訪問しました。目的は校長室にある「和をもって貴しとなす」という額を見学するためです。額は、赤痢菌の発見者として知られる仙台市出身の志賀潔氏(1871~1957年)によって書かれたものです。